

エコイベント環境配慮事例

～まずはできるところから～

- 事例 1 イベントの装飾品での環境配慮
- 事例 2 環境配慮の取組を参加者に PR
- 事例 3 リユース食器の使用

平成 28 年 4 月

環境部環境政策課

1 はじめに

イベントの開催には、地域振興、普及啓発、商品・サービスの PR など、様々な効果がある一方、エネルギーや資源の消費、廃棄物の発生、自然環境への影響などが生じ、環境への負荷を増大させる側面もあります。

このため、参加者の満足感や、イベントの目的を損なわない範囲で、環境に配慮したイベントを実施していく必要があります。

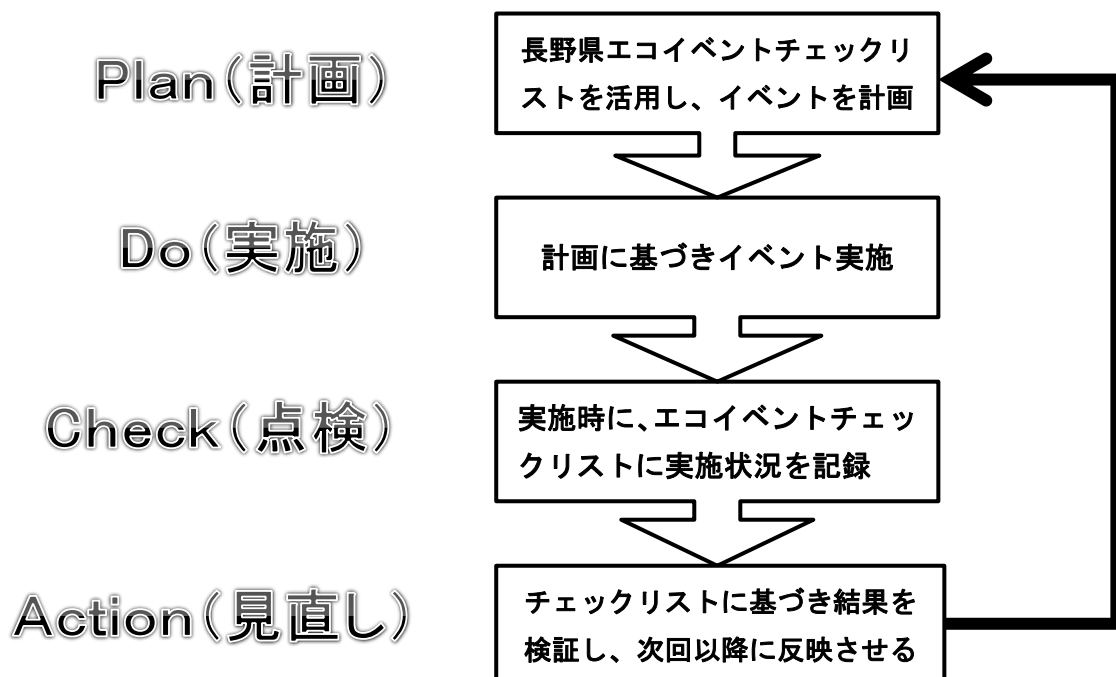
長野県では、「温室効果ガス削減のための『第5次長野県職員率先実行計画』」に基づき、県が主催、又は主体的に参画して開催するイベントにおいて、率先して環境に配慮したイベントの開催を推進しているところですが、「長野県エコイベント実施要綱」第4条に基づき、平成27年度の対象イベントの実施結果のうち、各所属でも参考となると思われる事例を取りまとめたのでご紹介します。

また、取組に当たっては、イベントの規模や目的に応じて、できるところから柔軟に進め、次第にステップアップを図っていくことが大切であることから、今回紹介した事例に加え、取組を深化させるための参考となる事項を長野県エコイベントチェックリストからピックアップし「さらにステップアップ！」として記載しました。

今後各所属において環境に配慮した「エコイベント」の取組を一層推進していくための参考としてください。

2 エコイベントの実施手順

(詳しくは長野県エコイベント実施方針、長野県エコイベント実施要綱を参照してください)



事例1 イベントのステージに、既存物品を有効活用、さらにリユース ～2015 環境フェア in 佐久～

【長野県エコイベントチェックリストから】

◆必須項目

- 環境配慮要件 (2) 省資源・省エネルギー
- 環境配慮項目 2 看板・装飾品などは、できるだけ既存物品を有効利用する

【イベントの概要】

「2015 環境フェア in 佐久」は、環境保全に関する取組を紹介し、「エコ」するところ、「科学」するところを考えることを目的として、豊かな環境づくり佐久地域会議と長野県の主催により、平成27年10月3(土)、4日(日)の2日間、佐久市家畜改良センターふれあい広場で開催されました。

【環境配慮の取組事例】

野外イベントで使用するステージは、ビールケースなどの既存物品を有効利用し、さらに簡素な資材を使い、職員が組立てました。資材は、翌年度にも再利用することとし、環境への負荷を低減しました。



既存品を活用



大勢の子どもたちが参加しました！

【さらにステップアップ！】

- 施設・設備等を設置する場合は、太陽光発電の導入や節水型トイレの設置など、省エネ施設・設備の導入を検討する
- 会場で使用する電力や燃料には、できるだけ自然エネルギー（太陽光・バイオマス等の利用、グリーン電力証書の購入など）を活用する

事例2 開催要項等に環境配慮の取組を具体的に説明し参加者にPR ～信州チャレンジスポーツ DAY2015～

長野県エコイベントチェックリストから

◆必須項目

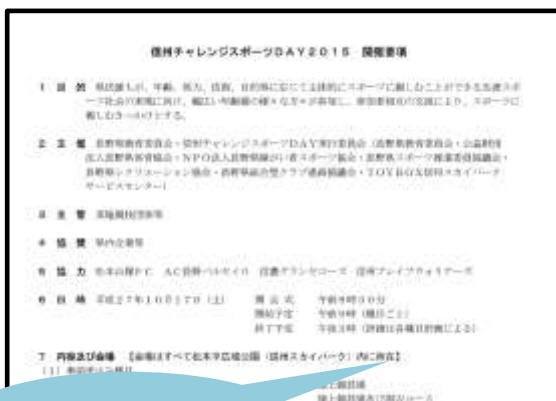
- 環境配慮要件（5）参加者への周知
- 環境配慮項目 1 パンフレット上やイベント会場内で、環境配慮の取組を具体的に説明し、PRする

【イベントの概要】

「信州チャレンジスポーツ DAY 2015」は、県民誰もが、年齢、体力、技術、目的等に応じて主体的にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向け、幅広い年齢層の様々な方々が参加し、参加者相互の交流により、スポーツに親しむきっかけとすることを目的に、長野県教育委員会、信州チャレンジスポーツ DAY 実行委員会等の主催により平成 27 年 10 月 17 日（土）に、松本平広域公園で開催されました。

【環境配慮の取組事例】

参加者に配布された開催要項に下記のとおり記載し、参加者に対する公共交通機関の利用促進や、ゴミの持ち帰り啓発など、具体的な取組を呼びかけ、環境に配慮したイベントであることをPRしました。



開催要項で・・・

12 その他

(1) …

(2) 県が進める「エコマネジメント長野」を遵守し、地球温暖化対策の推進や、資源循環型社会の構築に寄与するため、参加者に対する公共交通機関の利用促進、マイカーによる乗り合い参加の推進、ゴミの持ち帰り啓発などの取組を積極的に推進します。

参加者にPR

【さらにステップアップ！】

- イベント終了後に、参加者と共同で清掃活動を実施する
- イベント実施後には、環境配慮に関するアンケート調査を実施する

事例3 飲食に使用する食器にリユース食器を使用し、参加者にもPR ～信州環境フェア 2015～

長野県エコイベントチェックリストから

◆努力項目

- 環境配慮要件（3） ゴミ発生抑制・リサイクル
- 環境配慮項目 1 飲食に使用する食器については、リユース食器を使用する

【イベントの概要】

「信州環境フェア 2015」は、自然豊かな信州に暮らす県民・NPO・事業者・行政がお互いの理解と連携のもと、地球温暖化防止や循環型社会の形成などに向けた取組を推進し、持続可能な社会を構築することを目的に、信州環境フェア実行委員会の主催により、平成27年8月22日(土)、23日(日)の2日間、長野市のビックハットで開催されました。

15回目となる今回は「水」をメインテーマとし、革新的な「造水・水循環システム」の研究開発を進める信州大学アクアイノベーション拠点の特別展示や、俳優の中本賢さんによる「身近な川の大切さ」をテーマとしたトークショーなどが行われました。

【環境配慮の取組事例】

会場内の飲食コーナーでは、使い捨ての紙コップやプラスチック容器の代わりに、何度も繰り返し洗って使用できる（リユースできる）食器を使用しました。

また、リユース食器を使用していることを来場者にPRし、環境への意識を高めました。



※リユース食器について

- ・リユース食器とは、何度も繰り返し洗って使えるプラスチック製のカップや食器です。
- ・利用に当たっては、第4期長野県廃棄物処理計画を参考にしてください。
<http://www.pref.nagano.lg.jp/haikibut/kurashi/recycling/shisaku/kekaku-4ki.html>
- ・また、リユース食器のコーディネートをする全国的なネットワークもありますので、こちらも参考にしてください。
<http://www.reuse-network.jp/>

【さらにステップアップ！】

- イベント参加者に、マイバッグ、マイ箸、マイ食器等の持参を呼びかける
- 飲食の提供を行う場合には、食べ残しをなくすことを呼びかける

【参考：エコイベントチェックリスト】

◆必須項目

環境配慮要件	環境配慮項目(具体的な取組内容)	
(1) 会場周辺への配慮	1	イベント開催には、可能な限り既存の施設を利用し、環境負荷を軽減できる場所を選定する
	2	植樹・魚の放流などに当たっては生態系に配慮する
	3	会場周辺への騒音・振動等に配慮する
	4	イベント終了後は原状回復がされ、ゴミがないか等会場周辺を確認する
(2) 省資源・省エネルギー	1	冷暖房・照明を状況に応じて適切に管理するとともに、自然光・自然風を可能な限り照明・空調に利用する
	2	看板・装飾品などは、できる限り既存物品を有効利用する
	3	物品購入は必要最小限とし、購入する場合はできるだけ環境配慮物品とする
(3) ゴミ発生抑制・リサイクル	1	パンフレット等は必要部数を作成し、余った場合には確実にリサイクルする
	2	ゴミの分別収集場所をわかりやすい場所に設け、分別方法を説明するスタッフを配置する
	3	参加者・出展者に対して、排出するゴミの持ち帰り・リサイクルを促す
(4) 公共交通機関の利用	1	公共交通機関を考慮して会場を選定する
	2	イベント広報に当たって、公共交通機関や自転車の利用をパンフレット等に掲載するなど、環境にやさしい交通手段の利用を呼びかける
	3	マイカー利用者には、乗合やアイドリングストップの実施を呼びかける
(5) 参加者への周知	1	パンフレット上やイベント会場内で、環境配慮の取組を具体的に説明し、PRする
	2	マイバック、マイ箸、マイ食器の持参を呼びかける
	3	飲食の提供を行う場合には、食べ残しをなくすことを呼びかける
(6) 主催者の積極的な環境配慮	1	環境配慮責任者を選定する
	2	委託業務の場合、委託業者に環境配慮の協力を要請する
	3	スタッフ、ボランティアに対して環境配慮の趣旨を十分に説明し、内容の周知を徹底する

◆努力項目

環境配慮要件	環境配慮項目(具体的な取組内容)	
(1) 会場周辺への配慮	1	野外イベントの場合は、事前に会場周辺の動植物の生態を調査する
	2	ポスター・のぼり等は周辺の景観に配慮する
(2) 省資源・省エネルギー	1	施設・設備を設置する場合は、太陽光発電の導入や節水型トイレの設置など省エネ施設・設備の導入を検討する
	2	使用する電力や燃料には、できるだけ自然エネルギーを活用する(太陽光、バイオマス等の利用、グリーン電力証書の購入など)
(3) ゴミ発生抑制・リサイクル	1	飲食に使用する食器については、リユース食器を使用する
	2	記念品贈呈等では簡易包装を実施する
	3	印刷物には再生紙、大豆油インク等の環境負荷の少ないものを利用する
(4) 公共交通機関の利用	1	公共交通機関利用が難しい場合、シャトルバスを運行する
	2	環境に配慮した交通手段の利用者に対して特典を与える
(5) 参加者への周知	1	会場内で環境学習の機会を設ける
	2	イベント終了後に、参加者と共同で清掃活動を実施する
(6) 主催者の積極的な環境配慮	1	環境配慮の取組について事前にスタッフ等からアイデアを募集する
	2	NPO、環境関連団体、学生等、県民の参加と協働によるイベント運営を行う
	3	イベント実施後には環境配慮に関するアンケート調査を実施する